

「助けが必要な方に
政治の力が届いてほしい」
県北農民連 藤田雄大さん

「日本の食糧難は必ず来る」と20年前に聞き、いよいよかと実感しています。毎日米のニュースが流れ、米高騰の犯人捜し、JA、米卸、販売店、生産者…。元をただせば政治や政策に行きつく。早く適正価格に安定してほしいが、本当にお米が必要な方々に政治の力が早く届いてほしいと思う。交流会でお世話になった新婦人の皆さんありがとうございました。

「定期的に届く産直米で安心だった」
県南農民組合 深澤郁雄さん

米騒動で店頭から米がなくなり、あちこちへ米を探して動くことは大変なこと。定期的に届けられる産直米が本当にありがたいと感謝の言葉を多く聞くことができました。米の話以外で多かったのは「平和」に関することでした。戦争する国づくりへと進む政治を変えなければならぬ、7月の選挙で政治を変えようと呼びかけ、参加者全員で確認することができました。

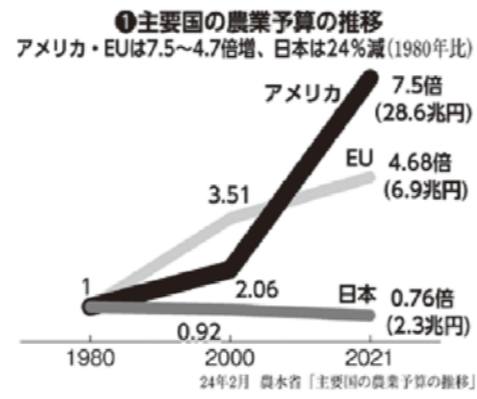
「生産者と消費者が
共同で声上げよう」
安達地方農民連 細山祥子さん

どの会場でも米騒動への関心が高く、備蓄米の仕組み、米流通システムに関する質問や意見がたくさん出されました。耕作放棄地、跡取り問題、集落が維持できないことも話されました。日本は「瑞穂の国」のはずだが、その景色が見えなくなっていることが悲しいという吐きが印象に残りました。

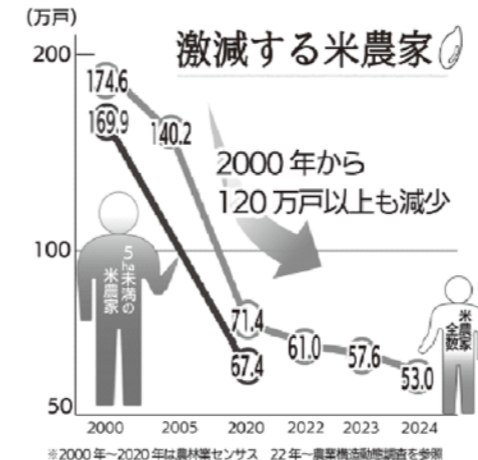
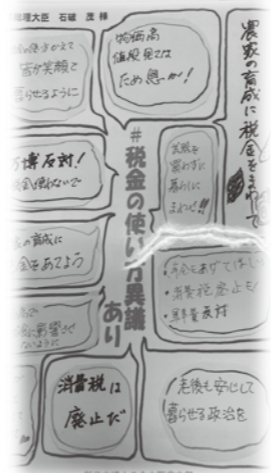
今回の交流会は選挙カフェも兼ねていたので、物価高での生活のこと、税金や保険料の高さの一方、自分たちの将来への不安など幅広い分野の話が聞けました。交流会の資料にあった、農業支援として買い支える人への支援も必要だとあったように、私たちの生活や環境もすべて食と農の問題へと繋がっていると改めて実感しました。生産者と消費者が共同で声を上げて政治を変えないといけないよねという意見はみんな一致していたと思います。



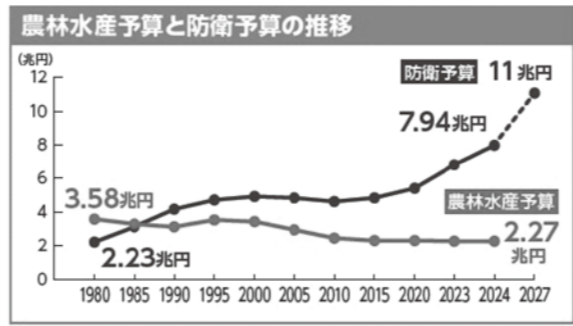
石破首相の思惑を直訴！



主要国が農業予算を増やす中、日本は減らし続け、自給率も38%まで低下させてきました。まずは農業予算を増やし、米、麦、大豆、飼料の増産と備蓄米の拡充・所得補償の創設、就農を希望する若者への支援を抜本的に増やすことが必要です。



低米価に苦しむ米農家を放置し、米農家が激減、米不足となったことが「令和の米騒動」の原因。自民党が引き起こした災害を小泉劇場でなかったことにしたい政府だが、みんなで学習し騙されなさいぞ！



「ミサイルよりも毎日のごはんを」、「軍事費を削って農業予算を増やして」。みんなの意見がここに集中しました。



農民連フラッシュ flash

地域農業を守るため、担い手を増やし、**アグロエコロジーを進めよう!**

6月21日郡山市農業総合センターにおいて、福島県農産物産直農業協同組合第24回通常総会が開かれました。総会に先立ち福島大学食農学類の小山良太教授から「これからの福島県農業について」と題し講演をいただきました。農民連は安全な食料を地域から生産し、持続可能な社会を目指してこれからも活動していきます。



米の栽培講習会 会津

6月28日、会津農産物産直農業協同組合主催の米の栽培講習会が開催されました。講師に元福島県農業総合センター稲作栽培試験研究・開発担当の手代木氏を向かえ、高温による米の品質低下対策などを学び、参加した20名は活発な意見交換を行いました。



オンラインから購入できます!



有機栽培コシヒカリを使用したパックご飯です。玄米と白米をご用意しております!



昨年大好評いただいた福島県産小麦100%のそうめん。数量限定となりますのでお早めにお買い求めください!

会津産小麦 100%そうめん

下記QRコードからご注文できます!



BASE